

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課	■担当係	健康係
■評価事業名称	前立腺がん検診事業		
■事業開始年度			
■評価事業コード	040200 - 090	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり	
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実	
	■施策	02 病気の予防、早期発見、早期治療の推進	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務		
■法令等の名称	健康増進法、がん対策基本法及び国ががん対策基本計画に定める基本方針		
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	がん対策基本法に基づき、前立腺がん検診を行う。前立腺がんを発見し、早期治療に結びつける。E23から個別検診を実施		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	前立腺がん検診事業	満50歳以上の男性で検査を希望する者が対象	集団検診66日間実施	対象者7,217人 受診者3,291人 受診率45.6% 集団健診67日間実施 個別健診29医療機関実施

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	6,322	6,806	6,661	6,717	
人件費	2,983	2,085	2,027	2,213	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	9,305	8,891	8,688	8,930	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
01	前立腺がん検診年間検診日数	66日	69日	66日	67日	
03	前立腺がん検診の受診率	44.0%	50.2%	45.7%	45.6%	受診者÷検診対象者×100
04	コスト	140.9千円	128.8千円	131.6千円	133.3千円	フルコスト÷検診日数

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

05	コスト	2.7千円	2.5千円	2.6千円	2.7千円	フルコスト÷受診者数
----	-----	-------	-------	-------	-------	------------

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

他検診が低下傾向のなか受診率を維持している。

問題点・課題等

受診率の維持、向上に向けた受診勧奨の方法が課題。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

早期発見・早期治療にはがん検診が有効であるため、事業継続が必要。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了